

令和5年度 事業者向け 児童発達支援事業自己評価表

公表：令和6年2月20日

社会福祉法人むそう 事業所名 ほわわ台東

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	適切である。十分な活動スペースを取り、室内でも体を動かす活動を実施できる広さを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	適切である。国の基準より多くの職員を配置することで、手厚い活動を実施している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	車いすやベビーカーも通りやすくしている。送迎車も車いすのまま乗車できる車両を使用している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	利用者アンケートを実施している。いただいた意見を反映、改善に向けて取り組んでいる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価と利用者アンケートの結果は、法人のホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	研修を実施している。他、ケース会議を実施し、個々の利用者さんのことを深く考える機会を設けている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	新規利用前には自宅へ訪問し面談を行い、アセスメントを実施している。日々の通所日や年2回の面談にて保護者の意見や最近のご様子を詳しく伺っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	法人で定めたアセスメントツールを使用している。

適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	看護師・理学療法士・相談員など関わる支援者で話し合いをおこなっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	利用者様の発達課題や、楽しみ、挑戦してみたいことを取り入れるため話し合いをおこなっている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	個別の活動が主ではあるが、年齢や身体の発達、物事の理解度をアセスメントし、同じような状態の利用者さん同士で集団の活動を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日のコーディネート表や手順書で確認と共有をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	利用記録への記載は、活動の内容、排泄、食事、薬、体調の変化等を記録している。利用記録を元に保護者へも引き継ぎを行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	ガイドラインの内容は重要事項説明書へ記載し、その中から利用者さん毎の内容を立てている。
関係機関	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	基本的にはサビ管が参加しているが、内容によっては看護師も参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	主治医からは看護師への指示書、介護職員へは医療的ケア実施の指示書をいただいている。保護者とは緊急時の対応を確認し、事前に連絡方法を確認している。

や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	区内の事業所連絡会や、各区の医療的ケア連絡会に出席したり、都などがおこなう研修会へ参加している
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域のこども園と交流する機会があるが、固定の曜日や少ない回数のため、機会を増やしていきたい。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	墨田区文京区の医ケア協議会の委員をしている。自立支援協議会への参加や意見提出をおこなってきたい。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	日々の状況は口頭や記録を通してお伝えしている。年2回の面談をとおして目標や課題の確認をおこなっているが、日頃から発達の状況などこまめにやりとりをおこなってきたい。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	個別に相談に対するお答えはおこなっているが、研修の開催はできていないため、研修機会を設けたい。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約書重要事項説明書は年度毎に更新のため、ご説明している。 日々の支援内容は、帰りの引き継ぎの際にご説明をしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	おこなっているが、日々の送迎時では時間も限られているため、もっと相談しやすいように工夫していきたい。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	イベント開催はおこなっているが、家族同士の交流が少なかつたため、ゆっくりとお話ができるような機会を設けたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情を受け付けてから、解決するまでの対応を整備している。苦情を受け付けた際は、早急に対応し、解決するようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に1回ぼわぼわという会報を発行している。日々の活動の写真や看護師からのお知らせを掲載している。

守	③⑤	個人情報に十分注意しているか	契約時に個人情報の取り扱いを保護者へ説明し、書面により同意を得ている。また、個人情報が記載されている書類の扱いは鍵付書庫への保管、破棄する書類はシュレッダーをかけている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	口頭、文章など必要に応じて使い分けをしている。お子さまそれぞれの表出のサインを確認している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	ボランティアやインターンの受け入れをしたり、近隣の事業所やお店へ出向いて地域の方と触れ合う機会がある。今後は地域の方がほわわに訪れたいような機会もつってきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応マニュアルは利用者毎に親御さんと相談確認の上作成している。職員へはマニュアルや手順を共有、内容によっては実技を通して学んでいる。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練は月に1回実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	事業所内では虐待防止身体拘束適正研修を実施し、管理者は自治体主催の研修へも参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	身体拘束は行っていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギーに関しては利用前の面談にて保護者から確認し、食器のスポンジやカゴを分けている。利用後に判明したアレルギーは都度共有していただき、アレルギーの度合いにより自宅と同じ対応策を実施している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットが起きた場合は、ヒヤリハット報告書を作成し、分析。全スタッフが回覧しチェックするようにしている。